



イノモトソウ [井の許草] ／オオバイノモトソウ

常緑／地被類等／シダ植物／在来種



科名 イノモトソウ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通
草本扱い（保証の観点より）

イノモトソウは、東北地方南部以南に分布する小型で繊細な感じのシダ。オオバイノモトソウは、関東地方以西の暖かい地域に分布し葉の幅が広い。交雑種にセフリイノモトソウがある。日陰の湿り気のある石積みの間や、庭木の根本などで細長い葉を伸ばす姿がとても涼しげ。



Memo

井戸の石積みの中に生育することから「井の許草」。人里に多く、人家周辺や林縁でよく見かける。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花 期												
	果 実												
	紅 葉												
	施 肥	(不要)											
	剪 定	(古い葉の切除)											

好みの環境		
日当り	陽	○ ○ 陰
土 壌	乾	○ ○ 湿
寒 さ	強	○ 弱
暑 さ	強	○ 弱
潮 風	強	○ 弱

観賞ポイント	姿	○	○				
	花						
	葉						
	紅葉						
	黄葉						
	実 香						

ポイント

湿り気のある半日陰から日陰を好み、乾燥や強い日差しは苦手。石積みの間や湿り気のある場所が適地。環境が合えば放任して育つ。葉の大きさは個体差があるが、日陰地のグラウンドカバーになる。

剪 定

古葉や枯れた葉を切除する。繁茂し過ぎたら、葉の本数を間引きして涼し気にまとめる。風通しを確保すると、見栄えもよくなる。繁殖力が強いので増え過ぎないように調整するとよい。肥料は不要。

病虫害

虫害は、ハダニ、カイガラムシ。病害は、炭疽病（葉や茎に褐色の斑点が発生する。病葉を取り除き風通しを確保する）。孢子葉の裏側につけるソーラス（孢子）を害虫と見間違えないよう注意する。